

## 荒川（下流域・上流域）流域治水協議会（第8回） 議事結果

日 時： 令和7年2月21日（金）13：30～14：15  
場 所： 羽越河川国道事務所 大石ダム会議所（WEB併用）  
参加者： 別添の参加者一覧のとおり

### 協議事項（1）「荒川流域治水プロジェクト2.0について」及び 協議事項（2）「令和6年度フォローアップ（各機関プロジェクト等）」について

（村上市長）流域治水プロジェクトの位置づけ、方向性とその重要性が理解できる。流域プロジェクトを引き続き推進すべきと考える。

（村上市長・胎内市長）流域治水プロジェクトのソフト対策と大規模氾濫減災協議会のソフト対策の違いを補足説明して欲しい。

（事務局）大きく違う点は対象エリアが異なるところである。大規模氾濫減災協議会は、「想定最大規模降雨により当該河川が氾濫した場合の水災による被害の軽減」と水防法で定められているため氾濫域に限定した対策となるが、流域治水はその限定がなく流域全体で対策するという点が大きく異なる。

### 協議事項（3）特定都市河川指定に向けた検討について

（村上市長・胎内市長）乙大日川を特定都市河川指定に向けて検討することとしたい。。

### 協議事項（4）その他

（村上市長）NIPPON防災資産に関連し、村上市小岩内地区の「小岩内のきせき」について後世に伝承することを目的にアーカイブ化を考えている。現在、絵本を作成しており、小学校の副読本にもする予定。

（事務局）絵本が出来たら、事務局としても記憶伝承に繋がるよう取り組んでいきたい。